

平成二十七年 度

(手話通訳学科) 入学試験問題

国 語

試験 時間 九：三〇～一〇：三〇

(注 意)

- 一 係員の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないで下さい。
- 二 問題は二頁と十四頁に印刷されています。
- 三 解答用紙に氏名、受験番号及び受験科目名を記入して下さい。
- 四 解答方法は次のとおりです。

例 (一) 埼玉県の県庁所在地として、正しいのはどれか。解答番号は

- ① 前橋市 ② 甲府市 ③ さいたま市 ④ 横浜市 ⑤ 千葉市

1

「(一)」の正答は「③ さいたま市」ですから解答用紙の解答番号1の横に並んでいるマーク欄の中の「③」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

- 五 机の上には鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計(計算機能のついていないものに限る)、受験票以外は置かないで下さい。
- 六 受験票は番号札の手前に置いて下さい。
- 七 マスクを着用している者は、試験官が本人を確認する間、マスクを外して下さい。
- 八 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 九 試験中に気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなった者は静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 十 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
- 十一 途中で退室する者は、解答用紙を机の上に置き、静かに挙手をして、係員の指示に従って退出して下さい。ただし、試験開始後三〇分間及び試験終了前一〇分間の退出は認められません。
- 十二 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

(出典 藤原智美『家族を「する」家』より)

問一 (ア)～(オ)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 1 ～ 5

(ア) シ|サ|ク

- ① 日米ガツサ|ク|の作品
- ② 問題部分はサ|ク|ジヨ|された
- ③ サ|ク|バンのことでもございます
- ④ 時代サ|ク|ゴ|の考え
- ⑤ 書物のサ|ク|イン|を整える

(イ) サツ|キン|

- ① キン|サ|ク|に走りまわる
- ② き|の|この|キン|シ|
- ③ キン|ベン|な働|き|ぶ|り|を見せる
- ④ キン|セイ|の|と|れた|体|つき
- ⑤ キン|キョウ|を報告する

(ウ) ユウ|ドウ|

- ① イン|ド|ウ|をわたす
- ② 幼い頃|に|覚|えた|ド|ウ|ヨウ
- ③ ダイ|ド|ウ|小異
- ④ ドウ|ヒョウ|を立てる
- ⑤ シャク|ド|ウ|色に焼けた体

(エ) ム|リ|

- ① リ|レ|キ|書|を提出する
- ② 父母が|いる|キョウ|ウ|リ|を思い出す
- ③ 国|の|カン|リ|となつて活躍する
- ④ 適切にショ|リ|をしてもらう
- ⑤ ヒョウ|ウ|リ|一|体|をなしている

(オ) レンソウ

- ① 彼はセイレン潔白だ
- ② 剣術のレンマにつとめる
- ③ とてもカレンな花だ
- ④ レンボの情を抱く
- ⑤ レンガや俳諧をたしなむ

問二 空欄ⅠとⅡに入る文章として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びな

さい。解答番号は

6

7

Ⅰ

6

- ① ずばり
- ② 間違いなく
- ③ 遠からず
- ④ ゆうに
- ⑤ とても

Ⅱ

7

- ① インテリア装置としての土間
- ② 家族の絆を確保する空間としての土間
- ③ 伝統回帰システムとしての土間
- ④ 恒常的な癒しの空間としての土間
- ⑤ 家族の一体感が得られる土間

問三 傍線部A「ここには住まいのなかに仕事場があり、働くことを通して家族が成立していた」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

8

- ① 働かなければ子どもたちは家族の一員として認められなかったこと。
- ② 住まいの構造が家族のあり方を基底でつくりあげていたこと。
- ③ 家族が皆で働くことでお互いの結びつきが得られたこと。
- ④ 働く場所としての土間が家族の成立には必要不可欠だったこと。
- ⑤ 経済的に余裕のない家では老人から子どもまで皆労働力とされていたこと。

問四 傍線部B「家族を維持する「基盤」が家族の目から見えなくなっていた」とあるが、この状況を筆者は一言で何と言っているか。その語句として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 9

- ① 抽象化
- ② 近代化
- ③ 分離化
- ④ 外部化
- ⑤ 自由化

問五 傍線部C「労働を通じた身体的なつながり」とあるが、家族で仕事をすることで得られるものを筆者は何と考えているか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 10

- ① 親の仕事の現実的な厳しき
- ② 家族同士の思いやりの感情
- ③ 親への尊敬と感謝
- ④ 家族としての一体感
- ⑤ 親の仕事に対する尊敬

問六 傍線部D「それは誤解だと悟った」とあるが、筆者がそう悟った理由として、最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 11

- ① 土間のある家が持っているその独自の空間の暗さ、冷たさ、土臭さに未知の憧れを抱いていることがわかったから。
- ② 若者達が、土間というものを実質的な役割のない無駄、一時の感覚的消費に過ぎないことを認識していることがわかったから。
- ③ 土間のある家もっていた伝統的な家族関係への拒絶反応が、若者達の理想的な住宅像の裏側に感じられたから。
- ④ 若者達は、今では見失われてしまった古臭く懐かしい生活を土間のある家にイメージしていることがわかったから。
- ⑤ 若者達はただ単に消費時代の感覚的なイメージに基づいて、土間のある家を望んでいることがわかったから。

問七 本文の内容に合致するものとして、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ  
選びなさい。 解答番号は 12

- ① かつての家族のなかにあつた協働作業と結びつきの復活を願つて、現代の住宅は伝統的な様式に回帰する傾向を見せている。
- ② 今の家族にはないかつての家族が具現化していた抽象的な人間関係が生まれたのは、明治政府の近代的な生活の提唱をきっかけとしてである。
- ③ かつての家族のあり方とは今では変容してきており、どんな住まいがいいのかそのあるべき姿も混迷状況にある。
- ④ かつての家族において現実的な労働力とみなされたのは、ある一定の年齢に達した成人だけであつた。
- ⑤ 土間のある家に現代の若者が憧れるのは、かつての家族にあつた結びつきがその家の様式に具現化されているからである。



第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

(出典 小浜逸郎『「弱者」とはだれか』より)

問一 空欄(ア)～(ウ)の言葉の意味として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 13 ～ 15

(ア) 既成事実

- ① 誰もが非難できない事実
- ② 昔からの伝統となっている事実
- ③ すでにできあがっている事実
- ④ 反論の余地のない事実
- ⑤ 今では習慣化した事実

(イ) スタンドプレイ

- ① 自分を目立たせる意識的な行為
- ② 相手に配慮する思いやりのある行為
- ③ その場の状況をうまく取り入れた行為
- ④ 行為の結果を見据えながら行われる行為
- ⑤ あえて控え目にする奥ゆかしい行為

(ウ) 不屈き者

- ① 付け届けを忘れる者
- ② おせっかいな者
- ③ 慎重すぎて失敗してしまう者
- ④ 腹黒い者
- ⑤ 法や道理にそむく者

問二 傍線部A「その意志」の指示内容として、最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 16

- ① 援助の手を差し伸べようとする意志
- ② 困った人間を無視しようとする意志
- ③ 押し付けがましいことをやめようとする意志
- ④ 困った人間に出会おうとする意志
- ⑤ ごく普通の人間であろうとする意志

問三 傍線部B「そういう問題」とは、具体的にどのような問題か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 17

- ① 優先席を設けるべきかどうかという問題
- ② 「弱者」との接触を自分から避けること
- ③ 優先席が空いていても誰も座らないこと
- ④ 「弱者」とどのように関わっていくかということ
- ⑤ 優先席に座っている人の心理的な負担感

問四 本文の内容に合致しているものとして、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 18

- ① 今の人に比べて昔の人間の方が、人に対するやさしさが感じられる。
- ② 優先席のようなものの設置は、結局弱者との接触を回避させることにつながる。
- ③ 他者との関係のあり方は、その時代の状況に応じて変わってくるものである。
- ④ 公共空間での優先席のような弱者をいたわる仕組みは、人心荒廃の昨今必須である。
- ⑤ どんな人間でも、困っている人に援助の手を差し伸べようとする心情を持っている。

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

(出典 加藤秀俊『日本人の周辺』より)

問一 空欄Aに当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 19

- ① 知恵
- ② 美徳
- ③ 哲学
- ④ 悪徳
- ⑤ 尊敬

問二 空欄Bに当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 20

- ① できた相談ではない
- ② 完全な相談ではない
- ③ できる相談だ
- ④ 意味のない相談だ
- ⑤ 意味のある相談だ

問三 傍線部Cが指し示している語句として、最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 21

- ① 世界
- ② 人間
- ③ 要素
- ④ 文脈
- ⑤ 哲学

問四 空欄Dに当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 22

- ① 完全なる完全主義
- ② だらしない人間
- ③ 気まぐれな世界
- ④ 間の抜けた哲学
- ⑤ 全体的な文脈での無智

手話通訳学科 国語 正答

問題番号	正答	
第1問	1	5
	2	2
	3	1
	4	4
	5	5
	6	3
	7	1
	8	3
	9	1
	10	4
	11	5
	12	3
第2問	13	3
	14	1
	15	5
	16	1
	17	4
	18	2
第3問	19	4
	20	1
	21	2
	22	1